

科学研究費助成事業 研究成果報告書

平成 29 年 8 月 9 日現在

機関番号：14501

研究種目：基盤研究(C) (一般)

研究期間：2013～2016

課題番号：25380673

研究課題名(和文)戦後日本の夜間中学とその生徒：ポスト・コロニアルの東アジア社会変動論の視座から

研究課題名(英文)Junior High Night Schools and students in Postwar Japan

研究代表者

浅野 慎一 (Asano, Shinichi)

神戸大学・人間発達環境学研究科・教授

研究者番号：40202593

交付決定額(研究期間全体)：(直接経費) 3,700,000円

研究成果の概要(和文)：本研究は、1947年から現在に至る日本の夜間中学とその生徒の実態、及び、それらの変遷を明らかにするとともに、散逸・劣化の危機に瀕している夜間中学校関連の膨大な一次史料を収集・整理し、電子媒体化することにより、将来にわたって研究者・関係者が広く活用しうる形式で保存し、適切な基準に基づいて公開した。本研究は、全国夜間中学校研究会60周年記念事業と位置づけられ、同研究会の全面的な協力の下に実施された。

研究成果の概要(英文)：This study clarify the actual situation and historical transitions of junior high night schools and students in postwar Japan. This collects, organizes historical materials, and saves them with the electronic media. This study is the 60th anniversary commemoration project of the Japan Society for the study of junior high night schools.

研究分野：社会学

キーワード：夜間中学 社会変動 ポスト・コロニアリズム 中国残留日本人

1. 研究開始当初の背景

夜間中学は、学齢期に通常の義務教育を受けることができなかつた人々のための義務教育機関である。日本に夜間中学が誕生したのは1947年であり、約70年の歴史を重ねてきた。しかし夜間中学とその生徒の実態に関する学術研究は、社会学はもちろん教育学も含め、1960年代末以降、極めて部分的・断片的にしか行われてこなかつた。もちろん夜間中学の教諭・生徒等による実践記録・体験記は少なくない。また1980年代以降、夜間中学をフィールドとして、日本語・識字教育、エスニシティ、障害者教育等、特定の個別テーマに限定した諸研究も散見される。しかし、夜間中学やその生徒それ自体を直接対象とする総括的な学術研究は、ほとんど着手されてこなかつた。しかも夜間中学は、その法的根拠・制度的基盤の脆弱さ、及び、改廃・質的变化等の事情も相俟って、現場での安定的な史料保存が難しく、膨大な一次史料が散逸・劣化の危機に直面していた。そこで史料の収集・整理・保存作業が、総括的な夜間中学の歴史研究にとって不可欠の前提となっていた。

2. 研究の目的

本研究の目的は、以下の2点にあった。

- (1)1947年から現在に至る夜間中学とその生徒の実態、及び、それらの歴史的变化を、ポスト・コロニアルの東アジアの社会変動論の視座の中で明らかにする。
- (2)散逸・劣化の危機に瀕している夜間中学関連の膨大な一次史料を収集・整理し、必要に応じて電子媒体化することにより、将来にわたって研究者・関係者が広く活用しうる形式で保存し、適切な基

準に基づいて公開する。

3. 研究の方法

本研究の基本的な方法は、約70年間にわたる夜間中学関連の膨大な一次史料を収集・整理・読解し、必要に応じて電子媒体化することである。本計画は、全国の夜間中学が結集する唯一の組織である全国夜間中学校研究会の創立60周年記念事業の一環と位置づけられ、史料収集・整理、及び、読解の双方において、極めて広範な関係者から協力を得ることができた。また既に廃止された夜間中学、退職した元教諭等を訪問調査し、新たな史料の発掘も実施した。史料の整理・読解においては、全国の夜間中学関係者と「夜間中学史料収集・保存ワーキンググループ」を結成し、日常的な意見交換・議論の下に遂行した。電子媒体化の作業においても、専門家の全面的な協力を得ることができた。

4. 研究成果

成果は、主に次の4点である。

- (1)『60年の歩み - 全国夜間中学校研究会大会史料集成：1954年度～2014年度(DVD)』の刊行。全国夜間中学校研究会は前述の如く、全国の夜間中学校が結集する唯一の組織であり、その60年にわたる大会関係史料・約170件を収録した。これにより、夜間中学の歴史の最も基礎的な特徴を総括的に把握し得る基盤を整えることができた。
- (2)『夜間中学関係史料目録』の刊行。本目録は、全国12の学校・個人が所蔵する夜間中学関係史料・計7000件以上の情報を掲載した。これにより、各地域・各

学校に関する詳細な歴史を把握しうる基盤が整えられた。なお、ここに掲載された史料情報に関しては、個人情報等について厳格に審議・処理を行い、適切な範囲・方法で公開した。

(3)『夜間中学校関係史料・電子保存システム(仮称)』、及び、『夜間中学関係史料目録(詳細板)(電子媒体)』の作成。前者は、特に重要と思われる史料・約4400件を電子媒体の形で保存し、検索・閲覧しうるシステムである。2017年度の全国夜間中学校研究会理事会で本システムの正式名称が確定される。後者は、(2)の史料目録に掲載しなかった史料の情報も含む詳細な目録である。これらは、貴重な元史料の散逸・劣化、万一の災害等による喪失等の事態に備え、史料の保存を目的としたシステム・目録である。したがって、全国の複数の施設での管理、及び、個人情報等を考慮した厳格な管理運営体制を構築した。

(4)以上の諸成果をふまえ、「5.主な発表論文等」欄に記載した成果を発表した。特に雑誌論文「戦後日本における夜間中学の卵生と確立」は、収集・整理した一次史料の読解に基づき、1955年以前の全国の夜間中学とその生徒の労働-生活実態を総括的に把握した。3回にわたる全国夜間中学校研究会研究大会での報告は、史料収集・整理作業の進捗、及び、読解から明らかになった夜間中学の歴史に関するものである。また夜間中学の生徒の中で大きな位置を占める中国残留邦人・中国帰国者についても、彼・彼女達の夜間中学での学びの実態も含め、論文・図

書を発表した。

5. 主な発表論文等

(研究代表者、研究分担者及び連携研究者には下線)

[雑誌論文](計4件)

浅野慎一、中国残留日本人孤児は今、ひょうご部落解放、依頼論文、2015年秋号 2015、22-36

浅野慎一「中国残留日本人をめぐる先行研究の批判的検討(下篇)」『神戸大学大学院人間発達環境学研究科研究紀要』 査読無 8-2 2015 105-125

浅野慎一「戦後日本における夜間中学の卵生と確立:1947~1955年」『神戸大学大学院人間発達環境学研究科研究紀要』 査読無 7-2 2014 157-176

浅野慎一「中国残留日本人をめぐる先行研究の批判的検討(上篇)」『神戸大学大学院人間発達環境学研究科研究紀要』 査読無 8-1 2014 181-198

[学会発表](計3件)

浅野慎一「全夜中研60周年記念事業・史料収集保存に関する報告」第62回全国夜間中学校研究大会(招待講演) 2016年12月1日 すみだ生涯学習センター

浅野慎一「全夜中研60周年記念事業・史料保存の報告」第61回全国夜間中学校研究大会(招待講演) 2015年11月4日 京都市洛友中学校

浅野慎一「全夜中研60周年記念事業(史料保存)の中間報告」第60回全国夜間中学校研究大会(招待講演) 2014年11月2

7日 大田区産業プラザ

〔図書〕(計4件)

夜間中学校史料収集・保存ワーキング
グループ編『夜間中学関係史料目録』全
国夜間中学校研究会 2016 全226頁

浅野慎一・佟岩『中国残留日本人孤児
の研究：ポスト・コロニアルの東アジア
を生きる』御茶の水書房 2016 全535頁

夜間中学校史料収集・保存ワーキング
グループ『60年の歩み - 全国夜間中学
校研究会大会史料集成：1954年度～2014
年度(DVD)』 2015 DVD

David Chapman, Karl Jacob Krogness
ROUTLEDGE Japan's household registr
ation system and citizenship 2014
pp.127-144

〔産業財産権〕

出願状況(計 件)

名称：

発明者：

権利者：

種類：

番号：

出願年月日：

国内外の別：

取得状況(計 件)

名称：

発明者：

権利者：

種類：

番号：

取得年月日：

国内外の別：

〔その他〕

ホームページ等

6. 研究組織

(1) 研究代表者

浅野 慎一 (Asano, Shinichi)

神戸大学大学院、人間発達環境学研究所、
教授

研究者番号：40202593

(2) 研究分担者

()

研究者番号：

(3) 連携研究者

()

研究者番号：

(4) 研究協力者

()